



ヴィツラ・ファルネジーナ

ラファエロ、バルダッサレ・ペルッツィ、セバスティアノー・デル・ピオンボ、
G・アントニオ・バッツィ（通称ソドマ）によるフレスコ画

ローマのヴィツラ・ファルネジーナはルネサンス様式の邸宅です。1500年代初めにシエナ出身の銀行家アゴスティーノ・キージが建築家バルダッサレ・ペルッツィに依頼して建てられ、ラファエロ、セバスティアノー・デル・ピオンボ、ジョバンニ・A・バッツィ（通称ソドマ）そして、ペルッツィによりフレスコ画が描かれました。その後、1500年代終わりにアレッサンドロ・ファルネジーナによって買い取られました。このことによりテベレ川の向こうにあるファルネーゼ宮と区別するためにこの邸宅はファルネジーナと呼ばれています。現在は、アカデミア・デイ・リンチェイの迎賓館として使用されています。

1階

Ⅰ ガラテアの間 LA LOGGIA DI GALATEA

ガラテアの間では、様々な画家の作品が見られます。ラファエロが描いた「ガラテア」。1511年にバルダッサレ・ペルッツィが円蓋に描いたアゴスティーノ・キージの占星術。1511年から1512年の冬にセバスティアノー・デル・ピオンボが半月の部分に神話のシーンとポリュペーモス（ギリシア神話の人物）を描きました。その他の四角形の部分には1600年代のローマの学校の風景が描かれています。



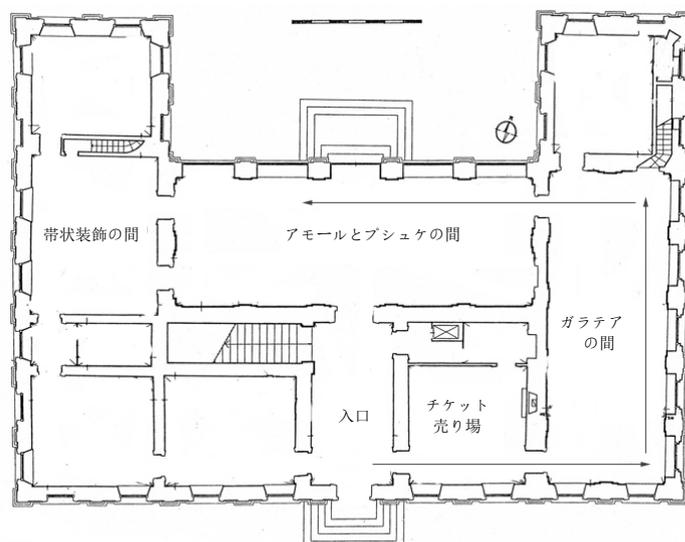
Ⅰ アモールとプシュケの間 LA LOGGIA DI AMORE E PSICHE

この間の名前は1518年にラファエロとその工房によって描かれたフレスコ画の装飾から付けられました。その絵画はアプレイウスのラテン小説「黄金のろば」の中の挿話として登場するプシュケを描いています。物語はジョバンニ・ダ・ウーディネによる花網装飾に区切られていて、ドーム状の天井の下から広がり、中心にある「アモールとプシュケの結婚」と「神々の集い」を囲んでいます。



Ⅰ 帯状装飾（フリーズ）の間 LA STANZA DEL FREGIO

壁の高いところにある帯状装飾からこの部屋の名前が付けられました。作者はペルッツィで、1508年頃に「エルコーレの冒険」を北側と東側の一部分に、そしてその他の神話のシーンを四面に描きました。



2階

Ⅰ 遠近法の間 LA SALA DELLE PROSPETTIVE

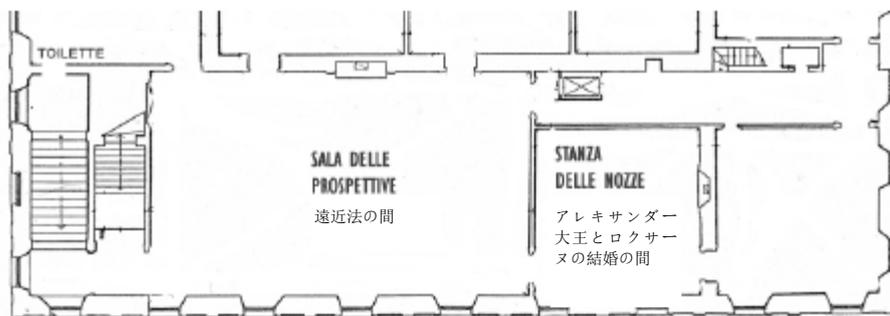
2階にあるこの広間の名前は1519年にバルダッサーレ・ペルッツィによって壁に描かれた遠近法による円柱とその向こうに見える町並みの風景装飾によるものです。各天井の下には帯状装飾と神話のシーンがあります。これもペルッツィとその工房によるものです。北側の壁には大きな暖炉が浮き出ています。



Ⅰ アレキサンダー大王とロクサーヌの結婚の間

LA STANZA DELLE NOZZE DI ALESSANDRO MAGNO E ROXANE

このように名付けられたのは北側の壁すべてに占められた重要なフレスコ画によるものです。この部屋はアグスティーン・キージの寝室でした。1519年に画家ジョヴァンニ・アントニオ・パッツィ（通称ソドマ）に装飾を依頼しました。1500年代の各天井にはグロテスク模様と神話のシーンが見られます。



チケット売り場で写真、出版物、ポスター、視聴覚メディア、はがきを販売しています。

ヴィッラ・ファルネジーナ

Via della Lungara 230, Roma - バス番号: 23, 125, 271, 280

チケット売り場: tel. (39) 0668027268 - インフォメーション: (39)0668027268/397 Fax: (39) 066893616
メール: lapenta@lincei.it, farnesina@lincei.it - ホームページ: www.villafarnesina.it

開館時間: 月～土 9時～14時 (最終入場は閉館時間の20分前)

毎月第2日曜日: 特別開館 9時～17時

上記開館時間以外の上場は要問合せ

ガイドツアー: 月・金曜日は12時30分、土曜日は10時 (英語) と12時30分 (イタリア語)

*毎月第2日曜日の催し

ガイドツアー: 12時30分 (ルネッサンスミュージックの生演奏あり。要予約。)、15時と16時は予約不要。

団体入場は要予約